

(倫理様式 2-2-1)

## 自動車運転評価における神経心理学的検査とドライビングシミュレーターの関連

### 1. 研究の対象

2019年10月から2024年6月まで当院急性期および回復期リハビリテーション病棟に入院していた脳卒中患者の内、退院後自動車運転再開を希望した脳卒中患者全例。

### 2. 研究目的・方法

脳卒中患者の自動車運転は、都道府県公安委員会の判断によりその再開可否が決定されます。医療機関においては、公安委員会が判断するために高次脳機能障害の状態などを記載する診断書作成が求められる場合があり、この高次脳機能障害を詳細に検査、把握するために神経心理学的検査やドライビングシミュレーターが用いられています。当院先行研究にて、脳卒中患者の自動車運転再開可否の判断するうえで、神経心理学的検査の中では脳卒中ドライバーのスクリーニング評価日本版(J-SDSA)の3項目(ドット末梢の誤り数、ドット抹消のお手つき数、コンパススクエアマトリックス)は精度が十分でないものの、有用であることを報告しました。しかし、J-SDSAとドライビングシミュレーター(DS)の5項目(運転反応検査の総合判定、運転操作課題の黄色枚数・赤色枚数、危険予測体験の事故回数・急制動回数)との関連性については一定の見解が得られていません。そこで今回、J-SDSAの検査3項目とDSの検査5項目との関連性について、自院のデータベースを用いて比較を行い、脳卒中患者の自動車運転再開可否を判断するための一助にすることを目指していきます。

美原記念病院リハビリテーション部では、自動車運転の再開可否を検討するための評価として、複数の神経心理学的検査とDSを用いた評価を行っています。今回の調査には、このデータに加え、年齢、性別、疾患名診療録から確認して用います。

これらの研究は2025年6月~2027年3月の間に実施します。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、疾患、高次脳機能の情報等

※個人が特定される情報は用いません。

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(倫理様式 2-2-1)

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院 リハビリテーション部

研究責任者 清水章弘

住 所：群馬県伊勢崎市太田町 366

T E L : 0270-27-8813 F A X : 0270-24-3359

-----以上